



平成26年11月4日

西京極だより

京都市立西京極小学校 校長 井上 隆介

～学校評価を本校の教育活動の推進に積極的に生かし、

学校・家庭・地域のつながりを深めていきます～

前期学校評価アンケートにご協力ください、ありがとうございました。今回は、マークシート形式を取り入れるなど、改訂した部分がありました。ご不便をおかけしたところもあったかもしれません、以下のような結果を得ることができましたので、お伝えします。

保護者の皆様と共にこの結果を受け止め、これからも、子どもたちのよりよい成長のために必要な教育のあり方と一緒に考え、実践していきたいと思っています。

【26年度 前期学校評価 集計表】

	項目	児童 (C)		保護者 (P)		教職員 (T)	
		重要度	実現度	重要度	実現度	重要度	実現度
子どもの姿	① 毎日楽しい学校生活を送っている。	4.9	4.6	6.8	<u>5.7</u>	7	<u>5.1</u>
	② 思いやのある優しい心が育っている。	5.1	4.4	6.8	<u>5.3</u>	7	<u>5</u>
	③ 家庭で学習する習慣がついている。	4.9	4.4	6.3	4.6	6.4	3.9
	④ あいさつができる	5	4.2	6.7	4.7	6.8	3.7
	⑤ 読書をしている。	4.7	3.8	5.7	3.4	6.7	3.5
	⑥ 基本的な生活習慣が身についている。	5	4.4	6.5	4.9	6.9	4.1
教育活動の様子	⑦ (児童) 先生は、一人一人のことを大切にしていますか。 (保護者) 子どもの人権の尊重 (教職員) 一人一人の人権を大切にした教育活動	5.1	<u>5</u>	6.6	4.9	6.7	4.8
	⑧ (児童) 学校や家で、進んで勉強としていますか。 (保護者) 進んで学習する習慣づけ (教職員) 分かりやすい授業の推進	4.9	4	6.4	4.8	6.7	3.6
	⑨ (児童) 学校のルールを守っていますか。 (保護者) 安全への意識づけやルールづくり (教職員) 安全への配慮	5.1	4.4	6.5	<u>5</u>	6.5	4.4
	⑩ (児童) 地域やPTAの行事によく参加していますか。 (保護者) 学校や地域、PTAの行事への参加 (教職員) 家庭や地域と連携した教育活動	4.1	3.1	5.6	4.3	6.7	4.2
	⑪ (児童) 学校からもらうプリントを、その日の内にお家の人に渡していますか。 (保護者) 配布物の確認 (教職員) 教育方針や取組のわかりやすい発信	5	4.4	6.4	<u>5.6</u>	6.6	4.2

回答総数：保護者：約670名 児童：約680名 教職員：約30名

*各項目 7点満点で回答傾向を表示しています。

*「実現度」については、4ポイント未満に色を、5ポイント以上に下線を付けました。

≪全体的な回答傾向≫

- 児童は、保護者や教職員に比べ、「重要度」が低い傾向にあります。
- 児童に比べ、保護者と教職員は、「重要度」が高く、「実現度」が低い傾向にあります。特に教職員にその傾向が顕著です。学級や学校の児童全員に達成してほしいとの思いが反映しているものと考えます。

≪観点ごとの傾向から≫

確かな学力の育成

*質問番号③⑤⑧がこの観点に関わる項目です。

～児童は進んで学習、教職員はわかりやすい授業の推進を！～

児童については、③「家庭で学習する習慣がついている」・⑧「進んで勉強をしている」において、「重要度」と「実現度」は近い数値になっています。その半面、保護者については、③と⑧「進んで学習する習慣づけ」の重要度と実現度は2.5ポイント以上離れています。児童が考へている以上に、保護者は家庭で、また進んで学習することは重要であり、児童にはそのようにしてほしいと考えておられることがわかります。

教職員の回答を見ると、③の重要度は保護者とほぼ同数ですが、実現度は3.9ポイントとさらに低い数値になっています。宿題などの家庭学習をしっかりと行えることが学力の向上につながることを実感し、どの子どもにもその力をつけてほしいとの思いの表れだと考えます。また、⑧「わかりやすい授業の推進」についても厳しい自己評価を行っています。日々の授業の充実を図るために、教材研究の時間を確保し、子どもの「できた」「わかった」につながる授業の工夫を行っていきたいと思います。

⑤(読書に関する項目)については、裏面をご参照ください。

豊かな心の育成

*質問番号①②④⑤⑦がこの観点に関わる項目です。

*⑤(読書)については、「確かな学力」と共通。

～三者の実現度が比較的高い。今後も一人一人に寄り添います～

項目①「毎日楽しい学校生活を送っている」と②「思いやのある優しい心が育っている」については、保護者、教職員ともに重要度も実現度も高い数値を示しています。多くの子ども達が、思いやのある心をもち、学校で楽しく過ごしていると保護者の方も感じられていること、とてもうれしく思います。ただ、三者の実現度は満点の「7」ではありません。友達に少しいじわるをしてしまったり、自分の思いをうまく表現できなかったりして悩みを抱える児童もいるということを受け止め、これからも児童理解に努めます。保護者の方にご協力をお願いする場合もあるかと思います。よろしくお願ひします。

児童は、⑦「先生は、一人一人のことを大切にしていますか」に対して重要度も実現度も5ポイント台と高い回答傾向を示しました。特に、実現度は全11項目の中で最も高い数値で、この項目のみ5ポイントを超えた。「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という京都市の教育理念のもとで、私たち教職員は「子どものためになるかどうか」を判断基準において日々の教育活動を行っています。子ども達に伝わっていたことをうれしく思うとともに、これからも、子どもたちみんなが安心して過ごせるよう、かかわっていきたいと思います。

④(あいさつに関する項目)については、裏面をご参照ください。

健やかな体の育成

*質問番号⑥⑨がこの観点に関わる項目です。

～児童の傾向「大事だけど、十分にはできていない」～

児童については、⑥「基本的な生活習慣が身についている」及び⑨「学校のルールを守っていますか」に対する重要度が5ポイント台であり、大切なことだと認識していることがわかります。また、保護者については、⑨「安全への意識づけやルールづくり」に対する実現度が5ポイントを示し、ご家庭で安全に対し日々お話し下さいっていることが伝わってきました。子ども達は、「はやね・はやおき・あさごはん」やルールを守ることを大切だと分かっているので、ぜひ、実現度を高めていってほしいと思います。

地域・保護者と学校との連携

*質問番号⑩⑪がこの観点に関わる項目です。

項目⑪の児童について、「学校からもらうプリントを、その日の内にお家の人へ渡していますか」に対し重要度が5.0ポイントでした。意識をしてプリントをお家の方へ渡そうとしていることが伺えます。また、保護者の方の回答を見ると、⑪「配布物の確認」に対して5.6ポイントと高い数値でした。学校からの配布物は決して少なくない中、多くの方がご確認くださっていることが伝わってきました。今後も、保護者の方に分かりやすい信を心がけていきたいと思います。

⑩(学校や地域・PTAの行事への参加等に関する項目)については、以下をご参照ください。

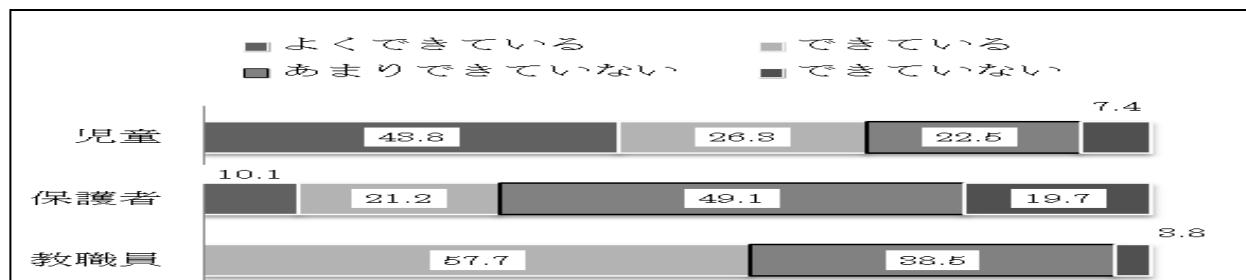
«特徴的な項目から»

児童・保護者・教職員の回答傾向の中で、特徴的な項目について、各回答の割合を帯グラフに表しました。

◆児童・保護者・教職員ともに実現度が低い項目～読書～

⑤一実現度

「読書をしていますか」(児童) 「子どもは家庭で読書をしている」(保護者)
「子どもたちは、読書の習慣がついている」(教職員)



今年度4月に6年生が行った「全国学力学習状況調査」の質問紙調査においても、本校は全国や京都府と比較して「授業時間以外に読書をしている」と答えた児童の割合が少ないという結果でした。

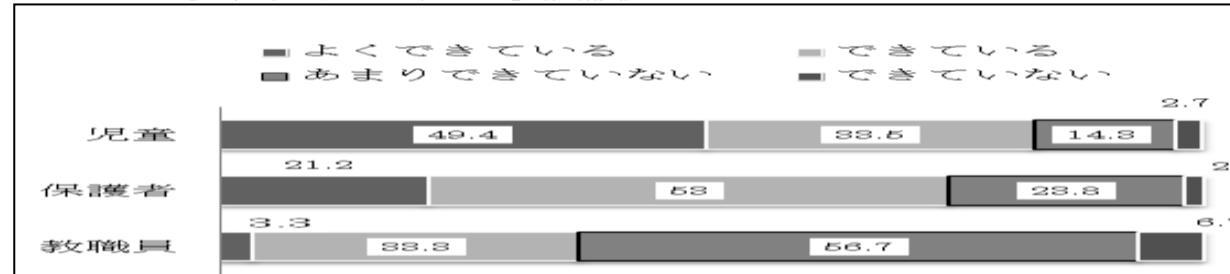
学校では、図書館利用を学級に割り当て、授業時間に学校図書館に行く機会をもつようにしています。今後は、各教科の学習の中で積極的に学校図書館を活用していくとともに、「もみじ読書週間」や日々のかかわりの中で「いつも手元に本がある」という環境づくりを進めていきたいと思います。

ご家庭でも、今回の調査結果を踏まえて、読書の楽しさを味わえる時間を作っていただけますと幸いです。

◆児童・保護者・教職員の回答傾向に差のある項目～あいさつ～

④一実現度

「進んであいさつをしていますか」(児童) 「子どもはあいさつをすることができている」(保護者)
「子どもたちは、あいさつが出来ている」(教職員)



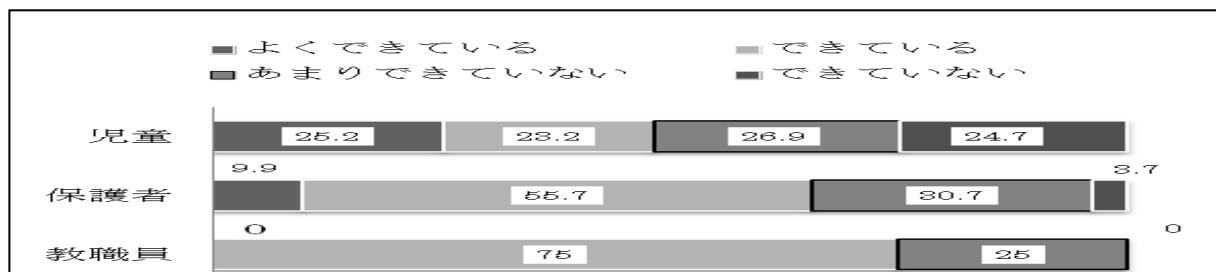
児童の49%が「よくできている」と答えていますが、保護者は21.2%、教職員は3.3%にとどまっています。児童は、自分では挨拶をしていると考えているようですが、学校や登下校の様子を見ると、声をかけられても挨拶を返せない児童の姿もあります。学校では挨拶をするけれど、学校外ではできないということもあるようです。仲が良いから挨拶を交わすということもあると思いますが、挨拶をすることから気持ちがつながっていくこともあります。ぜひ、進んで元気よく挨拶をして、人とのかかわりを深めてほしいと願っています。強制するのではなく、自発的に行えるよう支援を続けたいと思います。

◆保護者・教職員に比べ、児童の実現度が低い項目

～地域の行事への参加～

⑩一実現度

「地域やPTAの行事によく参加していますか」(児童)
「学校や地域、PTAの行事によく参加している」(保護者)
「家庭や地域と連携した教育活動を進めていると思いますか」(教職員)



保護者と教職員は、「よくできている」「できている」を合わせると6割を超えていましたが、児童の回答を見ると、5割を切っています。また、「よくできている」から「できていない」までが、ほぼ1/4ずつに分かれていることも他の傾向と異なる特徴的なものです。年間を通してよく参加している児童と、参加していない児童とがほぼ25%ずついるという状況を示しています。

休日は、旅行や習い事などで参加しづらい子ども達もいると思いますが、子どもは家庭や学校だけで育つのではなく、地域の方との様々なかかわりや支えによって育っていくものです。今後も楽しい催しを準備くださっていますので、ぜひ、子ども達へ参加のお声かけをいただければと思います。

«記述欄から»

記述欄にご意見を寄せてくださった方もいらっしゃいました。貴重なお声を受け止め、検討し、よりよい学校づくりに生かしていきたいと思います。ありがとうございました。紙面の関係で、いくつかを掲載いたします。

- ◇ 行事予定は、もう少し早くお願いします。例えば、避難訓練等、はっきりした時間等早く教えてほしいです。⇒学校からの情報発信の充実について、いくつかお声をいただきました。「学校だより」や「学級だより」などを通して、保護者の方が迷われないようにお伝えしていきたいと思います。
- ◇ 子どもの接し方で、本当に一人の人として接しているか、考え方を直したい。⇒ご記入くださった方だけでなく、子どもと接する私たち大人みんなで、この点を確かめたいと思います。
- ◇ 「重要でない」と答える場合ってあるのでしょうか。⇒「重要でないので実現できていない」のか、「重要だけれど実現できていない」のかがわかります。率直なご意見を寄せていただければ幸いです。
- ◇ 初めて懇談会に出たのですが、知らないかった人ともお話しできて、とても楽しかったです。⇒ご参加、ありがとうございます。保護者の方のネットワークを広げる場として、これからも、学校や地域の行事をご活用いただければと思います。